

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（参加学生）

平成 26 年 9 月 29 日

所属：医学部保健学科看護学専攻 学年：3 年

氏名：高橋 由佳

研修先大学・機関名等（国）：王立ブータン大学健康科学院（RIHS）

在籍身分：学生

渡航年月日：2014 年 8 月 24 日

帰国年月日：2014 年 9 月 7 日

○研修先での学習内容等

- ・王立ブータン大学健康科学院にて現地学生と共に受講
- ・王立ティンブー病院見学
- ・ティンブーやパロの医療施設見学

○研修期間の生活面について

アパートを借り、3 人で 2 週間生活した。食事はティンブー市内のレストランで食べたり、アパートにて自炊するなどし、日々過ごした。アパート内は清潔であり、温水シャワーを 24 時間使用できた。ブータンの街は、秋田の 9 月～10 月とほぼ同じ気温であったため快適であり、適応できた。

○研修期間全般にわたる感想

ブータンの大学側がゆとりのあるスケジュールを組んでくださったため、過度な疲労を感じることなく研修を終えることができた。病院見学の場合、学生に 1 人ずつブータンの学生が付き添ってくれたため、説明を受けながら効率良く学習することができ、予定に空きがある場合は私たちの希望を優先し計画を立ててくださった。さらに、休日は観光もさせていただいたため、勉学・文化・環境等様々な視点からブータンを知ることができ、大変充実した 2 週間であった。

○今後の勉学計画

今回の研修にて挙げた課題は、“英語力の決定的不足”と“ブータンの病院と比較するための日本の医療施設についての知識の不足”である。これらを改善すべく、空いた時間を見つけ英語の学習に取り組み、病院実習を通して日本の医療施設について理解を深めたい。

(写真)

